

土地利用の変化による名神高速道路の影響（騒音）

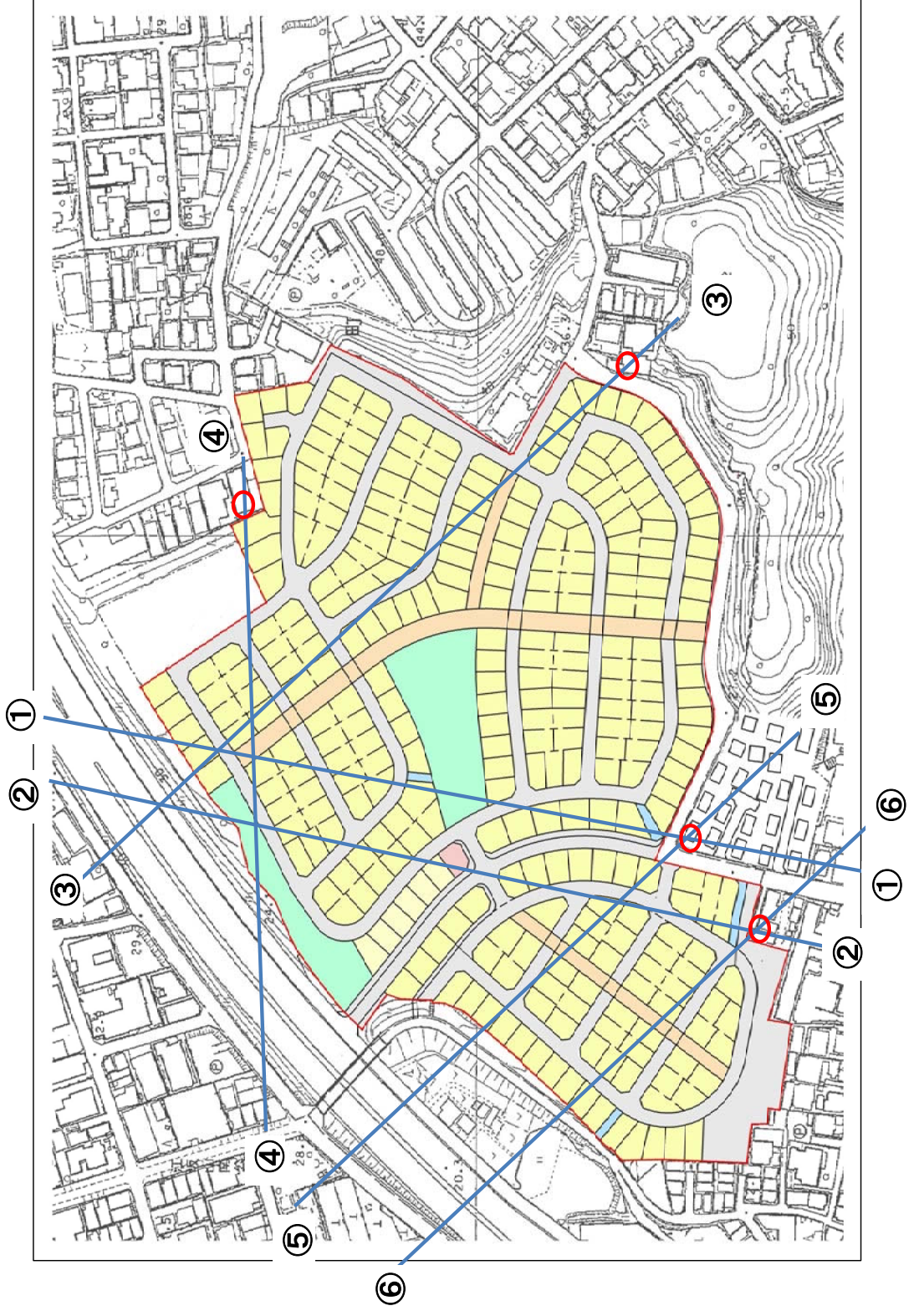
名神高速道路 遮音壁位置図



図12.7-10 予測地点位置図（名神高速道路に係る騒音）

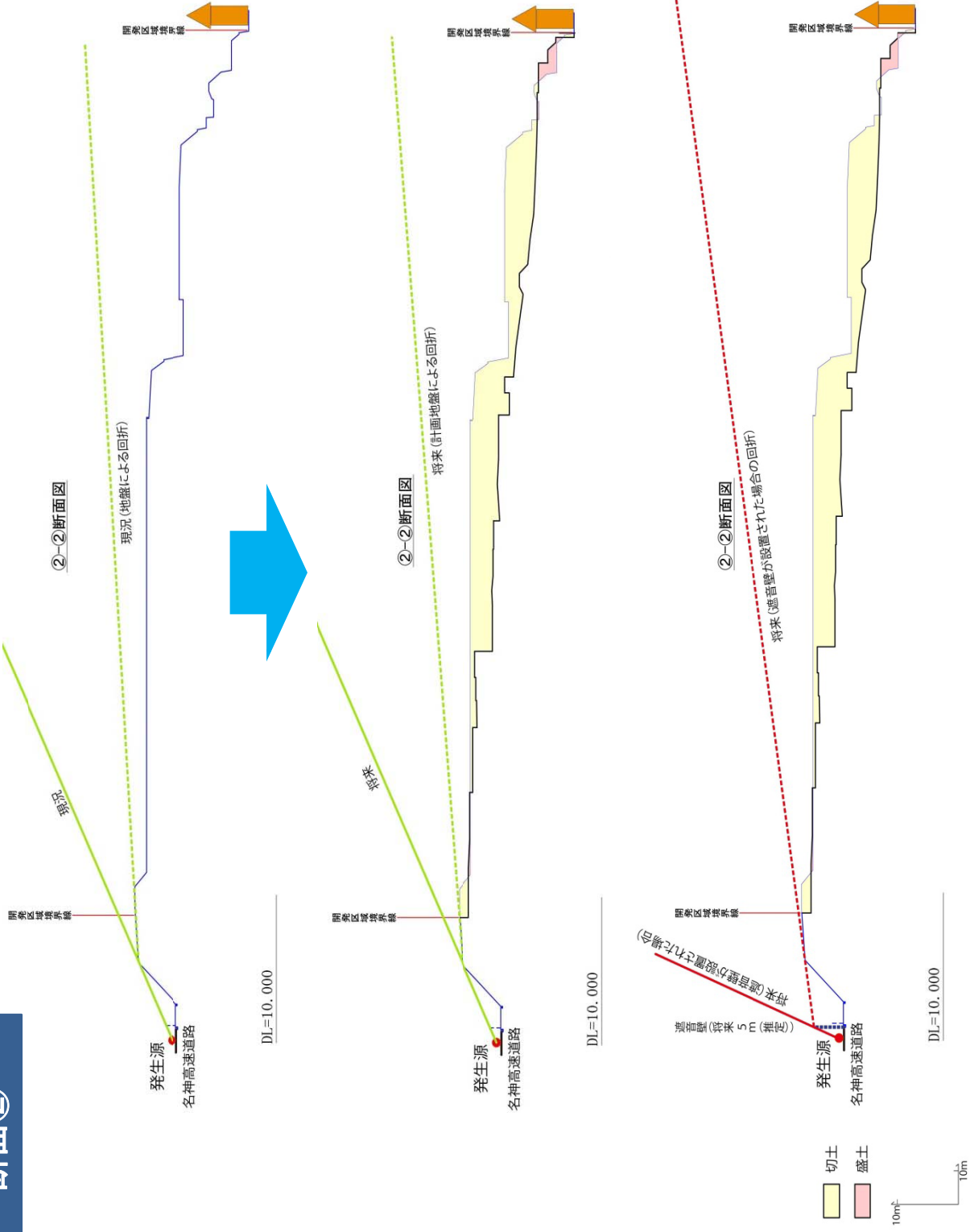
名神と保全対象の現況断面と将来断面の比較による検討

比較に用いた断面の位置と保全対象(主要な周辺住宅(○))



現況

断面②



名神高速道路の騒音レベルの予測結果(名神高速道路の寄与レベル)

<平均走行速度:80km/hの場合>

1台辺りの定常走行におけるA特性音響パワーレベル(大型車110.3dB、小型車103.8dB)

平日・休日別	昼夜別	道路端からの距離	現況予測値 (dB)	供用後予測値 (dB)	差 (dB)
平日	昼間	50m	52.0	51.8	-0.2
		100m	40.3	45.2	4.9
		150m	35.7	36.4	0.7
	夜間	172.5m(住居付近)	35.4	35.3	-0.1
		50m	48.4	48.2	-0.2
		100m	36.7	41.7	5.0
	150m	32.1	32.8	0.7	
	172.5m(住居付近)	31.8	31.8	0.0	

<平均走行速度:100km/hとした場合>

1台辺りの定常走行におけるA特性音響パワーレベル(大型車113.2dB、小型車106.7dB)

平日・休日別	昼夜別	道路端からの距離	現況予測値 (dB)	供用後予測値 (dB)	差 (dB)
平日	昼間	50m	53.9	53.7	-0.2
		100m	42.2	47.1	4.9
		150m	37.6	38.3	0.7
	夜間	172.5m(住居付近)	37.3	37.2	-0.1
		50m	50.3	50.1	-0.2
		100m	38.6	43.6	5.0
	150m	34.0	34.7	0.7	
	172.5m(住居付近)	33.7	33.7	0.0	

注)1. 現況の地形と3つの建物を無限延長の3つの壁として回折を考慮

(回折は行路差が大きくなる2つを選択して多重回折減衰量を計算)

2. 供用後については、名神高速道路とほぼ平行に並び住居付近を建物群

(長さ80m奥行65m)として設定した。

